

○越前市白山・坂口地区の概要

白山・坂口地区では、コウノトリを里地里山の自然環境の豊かさを示すシンボルとして位置づけ、コウノトリの繁殖と自然復帰を目指し、自然再生活動に取り組んでいます。

また、白山・坂口地区には、アベサンショウウオやハッチョウトンボなど絶滅の危機に瀕した生き物も生息しています。そのため、ビオトープづくりなどの保護活動も行われています。

○現地研修（自然再生作業）の流れ

《 9日（2日目） 》

- ・午前、現地研修会場周辺の自然環境について観察研修を実施します。
- ・午後は、まず、観察調査と安全講習を実施します。その後、2班に分かれ、コウノトリ飼育ゲージ近くの水田において自然再生作業（①休耕田、②退避水路の2か所で生態系調査および自然再生作業）を実施します。

《 10日（3日目） 》

- ・全員でビオトープ整備（希少生物の生息地の再生）を行います。

	プログラム	A班	B班
7月 9日 9：40～11：40	自然環境観察	現地研修会場周辺の自然環境観察	
13：00～14：00	観察調査・安全講習		
14：10～15：10	自然再生作業①	休耕田の自然再生	退避溝整備作業
15：20～16：20	自然再生作業②	退避溝整備作業	休耕田の自然再生
7月10日 9：00～11：30	自然再生作業③	ビオトープ整備（希少種生息地）	

位置図

